

～学校統廃合と小中一貫教育を考える瀬戸市民の会～

申し入れの主な内容

- ① PTA・地区等における意見交換会やアンケート結果や2月19日に瀬戸市議会厚生文教委員会の意見交換会等を踏まえると、住民合意・理解がなされているとはいえない。
- ② 2月8日文部科学省にて衆議院議員本村伸子さんの大臣官房文教施設企画課の西村課長補佐と栗本和良第1係長からの聞き取りがあり、以下が要約。
 - * 「小中一貫教育・学校施設の複合化に関する施設計画・設計プロセス構築支援事業」の中で瀬戸市のような7校を1校にするような例はない。
 - * この事業での補助を受けているので。文部科学省としては今年度中に意見に対してどう対応するかなどの報告を求めることになる。具体的な設計まで求めるものではない。
 - * 瀬戸市は300万円、磐田市は400万円の補助。自治体の申請によった金額。
 - * この事業の報告書を出したからといってこの通りにやらなければならないというものではない。あくまで、プロセスと対応を報告してもらう事業。
 - * 学校規模によって、施設整備に関する補助金がもらえる・もらえないというものではない。あくまで自治体がどのような判断をするかによる。
 - * 瀬戸市の場合、平成32年に開校する予定になっているが、この事業で報告したからといってその通りにやらなければならないというものではない。
- ③ 27年5・6月の参議院・衆議院文部科学委員会では付帯決議で、既存の小中学校との格差が出ないように万全を期すことや各地域コミュニティの核としての学校性格もあることが述べられ、安易な学校統廃合を行わないように警鐘をならしている。

瀬戸市の小中一貫校問題に関して、皆さまの声を市長・教育委員会に届けていただきたく、裏面に文面を印刷いたします。切り取る等して頂き、FAX やご意見箱によりしくお願いいたします。【瀬戸市民の会事務局 原田より】

瀬戸市長 伊藤保徳 様

教育長 深見和博 様

月 日

日頃は、瀬戸市政のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

今、瀬戸市が計画されている「小中一貫校」は、2中学校・5小学校を1校にするというもので、地元説明会やワークショップなどは開かれているものの、住民合意にはとても到っておりません。

道泉連区学校を守る会の「瀬戸市小中一貫校施設整備計画の見直しを求める請願書」は1万100筆を超え、市民の中にもこの計画は拙速過ぎるという声が広がっています。

今、計画を強引に推し進めるのではなく、住民との話し合いやその声を十分に尊重しつつ、子どもたちや地域にとってどのような教育・学校が良いのかをご検討下さるようお願いいたします。

わたくしの一言

住所

氏名

FAX 送り先 瀬戸市長 市役所秘書室 88-2505
教育長 教育委員会 88-2755